

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	南信濃福祉企業センター管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	3	2	21		27,197
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり										1	4,493
施策	36 生活困難者の自立及び支援										2	22,704
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	関連計画 社会福祉法 生活保護法 障害者自立支援法 飯田市授産施設設置条例					
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	授産施設利用者(定員50名) (利用対象者以外の一般利用者20名を含む)	生活保護基準該当利用者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			14			
		障害者自立支援法対象利用者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			2			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
利用者が収入を得て、安心して生活を営めるようにする。	利用者1人当たりの賃金(月平均)	18目標	39500	最終目標	40000	
		18実績	49755	19目標	39500	↑
		23目標	39500	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	生活困窮者・障害者等に対して、就労又は技能の取得のために必要な機会及び便宜を与えることにより、生活の安定と、自立の助長を支援する。そして、そのための施設の効率的で安定した運営を行う。 また当地区は山間僻地であり就労の場が少ないので、一般就労の場としても支援する。 分場の統合を検討する。	センターの受託する仕事を確保 就労の場提供 技能訓練・生活訓練 自立支援	年間受託収入(円) 年間利用者数(人) 民間企業への就職者数(人)	24,724,954円 546人 0人
	18年度の実績			
	19年度計画	センターの受託する仕事を確保 就労の場提供 技能訓練・生活訓練 自立支援	年間受託収入(円) 年間利用者数(人) 民間企業への就職者数(人)	22,704,000円 492人

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	550	566
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	25,850	24,102
	一般財源	1,600	2,529
事業費計(A)	28,000	27,197	
人件費	正規職員所要時間	18年度 4,000	19年度 2,000
	臨時職員等所要時間	8,000	10,000
	人件費計(B)	22,904	17,902
	トータルコストA+B	50,904	45,099

特定財源内訳や補足事項	福祉企業センター措置負担金 施設訓練等給付費 受託収入
-------------	-----------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	自立した生活を送ることができる	生活保護を受けている人の中で自立した人の数	現状値	13	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	15
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>低所得者の福祉対策として生活保護法等の法律が施行されたのをきっかけとして、生活困窮者・障害者の就労機会確保と、自立支援のため事業を開始。一般就労の場が無いため、働く場の確保とゆう側面もある。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>厳しい経済状況を反映して、受託先仕事量の減少。地区内の仕事先が限られているため、一般就労支援の側面もある。自立についても難しい状況。作業内容に技術が必要となってきた。簡単で誰でも出来る仕事の確保が必要。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>利用者等の意見 障害があり、思いどおりに仕事が出来なく、このような場があり有り難い。</p>
--	---	--

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>就労の場が少なく、就労の場として重要、あるいは自立支援に結びついていく。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>受託先の開拓・事務費対象利用者の増員</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>仕事の量と、利用希望者のバランスを維持していく。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>利用者の健康維持(医療費の減)、生き甲斐対策、地域に他に仕事の場がなく、現利用者の就労ができなくなってしまう</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>就労の場が少ない当地区では、就労のニーズが高まっている</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>施設の利用用途に制限がある</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>一般就労の場と社会弱者の就労の場が少なく、市が関わる必要がある。参加する民間企業がない</p>		<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>人件費の減(嘱託職員への変換)</p>
			<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>施設利用者(受益者) 障害者自立支援法施行により、障害者がサービス費の10%を負担することになったため、一般利用者の負担を5%から10%に引き上げ均衡を図った。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>正規職員1名を臨時職員に変更(H19.4~)</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>臨時職員の確保</p>
--	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	